

有機・イオン熱電変換材料の開発とデバイス応用

環境発電の需要に後押しされる形で、有機熱電変換材料・デバイスの研究開発が活発に行われている。本シンポジウムでは、有機・イオン熱電分野における材料開発や成膜・計測技術の開発、発電デバイス応用に精力的に取り組んできた研究者に講演いただき、今後の研究展開について議論する会としたい。

日時：2024年9月17日(火) 9:00～18:15

— 招待講演者(敬称略, 五十音順) / 講演題目 (仮題) —

- | | |
|---------------|---|
| 末森 浩司 (産総研) | カーボンナノチューブ-高分子複合熱電材料の π 型モジュール化に関する研究 |
| 瀧宮 和男 (東北大) | n型有機熱電材料研究における課題 |
| 中村 雅一 (奈良先端大) | 有機半導体における巨大ゼーベック効果 |
| 野々口 斐之 (京工繊大) | 超分子ドーピングによるカーボンナノチューブ熱電材料の機能制御 |
| 藤ヶ谷 剛彦 (九大) | キャリアドーピング技術を駆使したカーボンナノチューブ熱電材料の開発 |
| 向田 雅一 (産総研) | 導電性高分子熱電デバイスのIoT電源応用 |
| 村田 理尚 (大工大) | 有機金属半導体を用いたn型熱電フィルムの開発 |
| 山田 鉄兵 (東大) | 超分子化学に立脚した熱化学電池の開発 |